株式会社ピービー© http://www.pb-jp.com
〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29
商品お問い合わせ先： 大阪オフィス support@pb-jp.com
〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3
TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807

CMMシリーズ

CMM-MBH8

取付・取扱説明書

販売店様へ
取り付け作業が完了しましたら、この取付・取扱説明書をお客様へお渡しください。

もくじ

構成部品・主な仕様 ・・・・・・・ P1
安全に正しくお使いいただくために接続するまえの準備 ・・・・・・・ P2
取付車種別の初期設定 ・・・・・・・ P3
純正システムの脱着要領 ・・・・・・・・ P4～P7
車両コードとの接続 ・・・・・・・・ P8～P10
ご使用方法について ・・・・・・・・・・・ P11
保証書 ・・・・・・・・・・・ P12

CMMシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取り付けの前に、この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付け作業を行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となることがあります。

この取付・取扱説明書では別売りオプションキットの接続についても説明しています。詳しくは別売りオプションキットの取付・取扱説明書をご覧ください。

この取付・取扱説明書を読み終わったあとは、必ず保管してください。

この製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。必ずお買い上げの販売店で取り付けてください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。この指示を守らなかった事による車両の故障または破損等につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

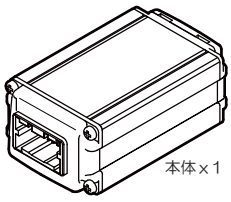
この製品は、運転者以外の同乗者がテレビを視聴するために開発された製品です。運転者が走行中にＡＶモニターを注視することは、事故、ケガの原因となると共に、道路交通法で禁止されています。同乗者がいないときは安全のため、車両情報やナビゲーションの映像などに切り替えてご使用ください。

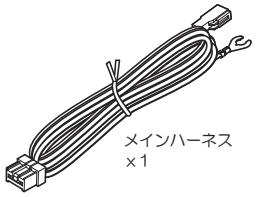
この製品は、安全に十分配慮して設計されています。しかし電気製品はすべて、まちがった使い方をすると事故や火災等の原因になります。動作がおかしかったり、異常、故障と思われる場合はすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。

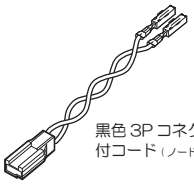
この説明書の指示を守らなかった事による事故、法律の違反、車両の故障または破損、製品の不具合等の賠償につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

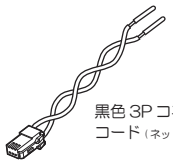
キット構成部品をご確認ください

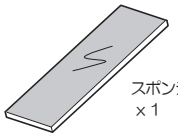
作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

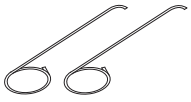

本体 x 1

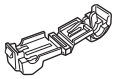

メインハーネス x 1


黒色 3P コネクター端子付コード（ノード側）x 1


黒色 3P コネクター接続コード（ネット側）x 1

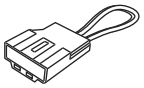

スポンジシート x 1

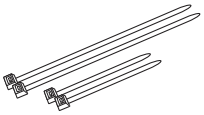

エアコンルーバー取外し工具 x 2


スコッチロック（青）x 1

クリップ x 2

圧着スリーブ x 2


ジャンパーコネクター x 1


ナイロンバンド100mm x 2
ナイロンバンド200mm x 2

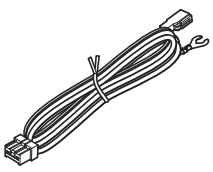
主な仕様

【入力】
電源電圧 ・・・・・・・・・ DC12V マイナスアース

【その他】
・動作時消費電流 ・・・・・・・・・ 約 65mA
・待機時消費電流 ・・・・・・・・・ 約 0.15mA
・交換用ヒューズ容量 ・・・・・・・・・ 1A（φ6x30管ヒューズ）

別売りオプションキット

RS コントローラーオプション


拡張メインハーネス x 1

LED内蔵切替スイッチ x 1

RSコントローラー x 1

青色1Pハウジング x 1

※ 本取付説明書に記載の内容は、調査時のデータに基づいて作成されています。調査後に車両変更、車種追加などで取付情報が変更になる場合がありますのでご注意ください。
※ 本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。また本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。
※ FOR SALE IN JAPAN ONLY

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。
その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

●本品はDC12V仕様以外の車での使用はしない。火災の原因となります。

●本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

●車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。

●車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や、発火、事故の原因となります。

●取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

●機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●取り付けた機器の音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

●ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

●接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

●本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

●必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

●しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

●取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

●車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

●コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

●コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

●機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

●本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

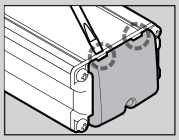
取付車種別の初期設定

☞ アドバイス

●取り付ける車種に合わせて必ず初期設定を行ってください。初期設定を行わずに接続すると本製品が正しく機能しません。工場出荷時はMBH82に設定してあります。

1 CMM 本体のカバーを取り外す

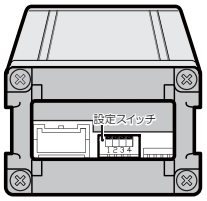
破線部分に細いマイナスドライバーを差し込み、カバーを手前に引き、取り外してください。



☞ アドバイス

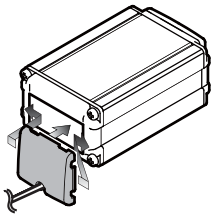
設定用カバーを取り外すとき、設定用カバーやケース、内部基板に無理な力を掛けたり傷付けないようご注意ください。

2 初期設定を行う



取り付ける車種に合わせて表を選び、取付車種別の設定スイッチ（No.1～No.4）を表示図のように切り替えてください。

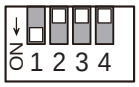
3 作業後はカバーをもとに戻す



オプションのLED内蔵切替スイッチを取り付ける場合は、カバー下側中央部の溝にコードをあわせながらもとに戻してください。

MBH81

スイッチ設定



グレード	型式	適応年式（西暦）	備考
Cクラス	DBA-204***	'07/06～'08/07	W204

メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのHDDナビゲーションシステム装着車（一部取付できないグレードがあります。）
・セダンは運転席のSRSニーバッグ、パーキングアシストリアビューカメラが標準装着されていない車両。
・ステーションワゴンはSRSニーバッグが標準装着されていない車両。
※接続には、別売りのRSコントローラーオプションが必要です。

☞ アドバイス

●純正システムの脱着については、この取付説明書の4ページをご覧ください。

●車両コードとの接続については、この取付説明書の8～9ページをご覧ください。

MBH82

スイッチ設定

グレード	型式	適応年式（西暦）	備考
Bクラス※1	***-246***	'12/04～	W246
Cクラス※2	DBA-204***	'08/07～	W204
CLSクラス	RBA/CBA-218***	'11/02～	C218
Eクラス	DBA/CBA-212***	'09/05～	W212
Eクラスクーペ	DBA/CBA-207***	'09/07～	C207
GLKクラス	CBA-204***	'08/10～	X204
SLS AMG	ABA-197377	'10/06～	C197
SLKクラス	DBA/MBA-172***	'11/07～	R172

メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのHDDナビゲーションシステム装着車（一部取付できないグレードがあります。）
※1 Bクラスは、メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのCOMANDシステム装着車（一部取付できないグレードがあります。）
※2 Cクラスは、運転席のSRSニーバッグが標準装着されている車両。

☞ アドバイス

●純正システムの脱着については、この取付説明書の4～7ページをご覧ください。

●車両コードとの接続については、この取付説明書の10ページをご覧ください。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

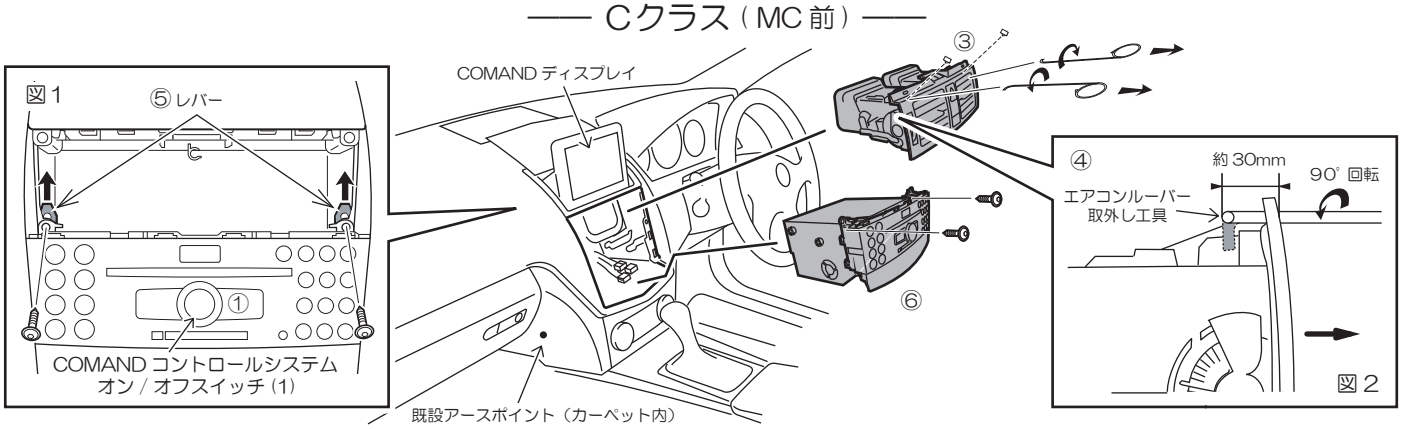
●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― Cクラス（MC前）――



① キーを差し込まない状態で、COMANDコントロールシステム オン／オフスイッチ（1）を押し、COMANDディスプレイを展開させます。

② エンジンルーム内助手席側エアダクト下部のバッテリーのマイナス端子を外します。［バッテリー位置はこの取付説明書８ページ“取付概要図と電源コードの接続”参照］

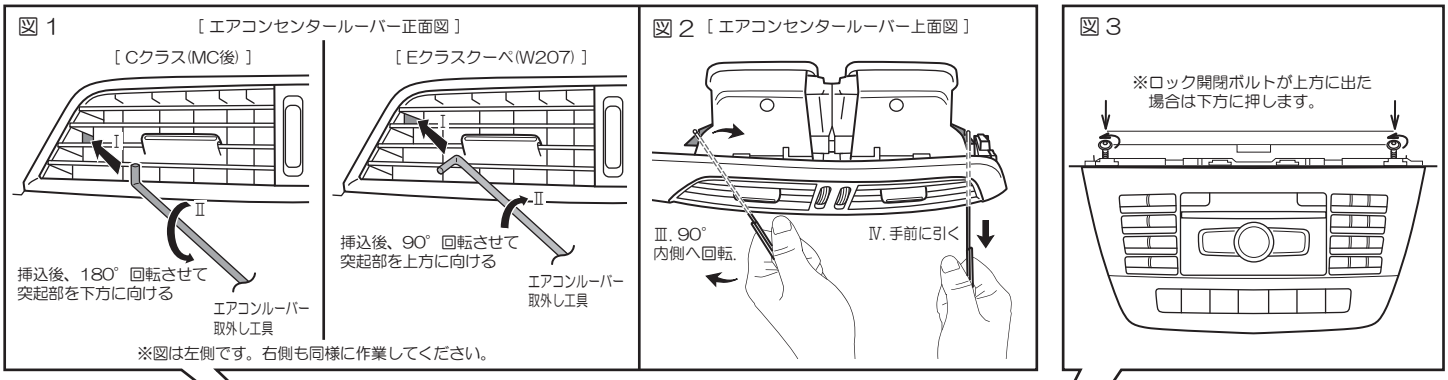
③ エアコンルーバー上部左右にあるゴムキャップを取り外します。

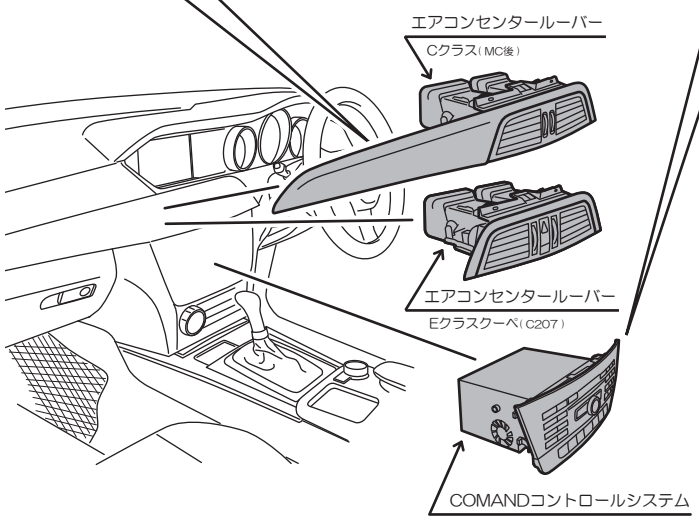
④ 図２を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具を約30mm差し込み、先端が下側にくるように90°回転させ、エアコンルーバーに引っ掛け手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

⑤ 図１を参照し、COMANDコントロールコンポーネント上部左右のビス２本を緩め、左右レバー（黒色）を引き上げロックを解除します。

⑥ COMANDコントロールコンポーネントを手前に一度引き、さらに持ち上げてから手前に引き出し、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外し、取り外します。

―― Cクラス（MC後）/Eクラスクーペ（C207）――





① 図1を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具の突起部を上方に向けてセンタールーバーの左右切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を180°回転させて突起部を下方に向け、エアコンルーバーの左右キャッチフックに引っ掛けます。

※ Eクラスクーペの場合、エアコンルーバー取外し工具の突起部を外側に向けてセンタールーバーの左右切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を90°回転させて突起部を上方に向け、エアコンルーバーの左右キャッチフックに引っ掛けます。

② 図2を参照し、エアコンルーバー取外し工具の先端をエアコンルーバーの内側方向に約90°回転させてエアコンルーバー取外し工具を引き、左右キャッチフックを解除し、コネクターを外し、取り外します。

③ 図3を参照し、ロックゲート開閉用ボルト2本を抵抗感があるまで、緩め、ロックを解除します。

※ ロックゲート開閉用ボルトが上方に出てきた場合は、下方に押します。
※ ロックゲート開閉用ボルトはコンソール側に残ります。

④ COMANDコントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

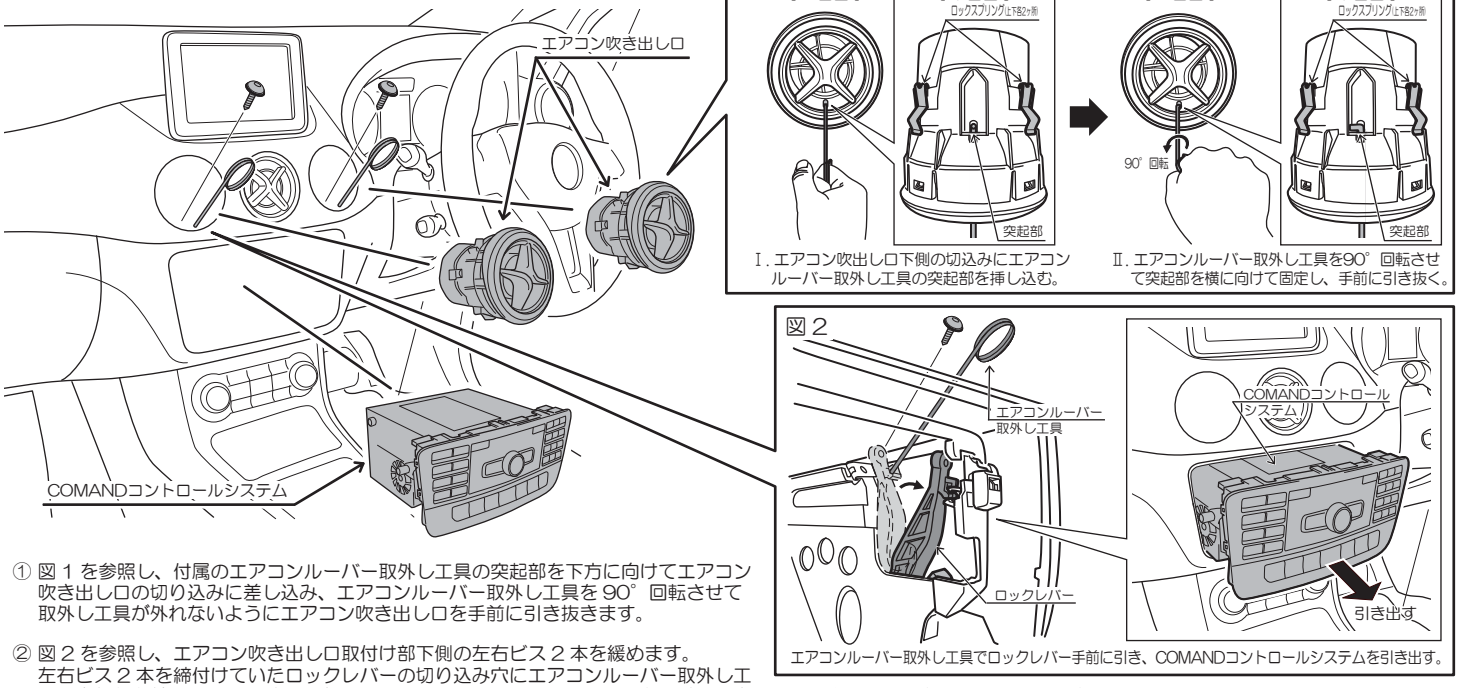
●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― B クラス（W246）――

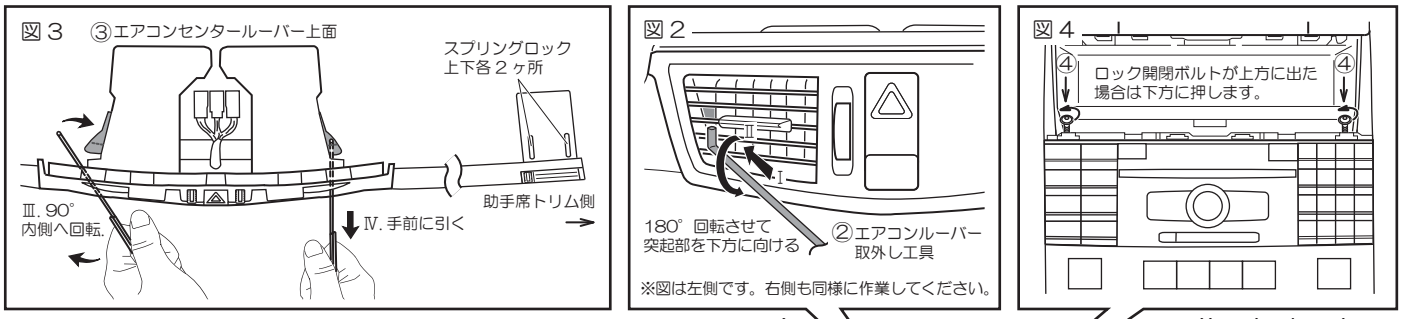


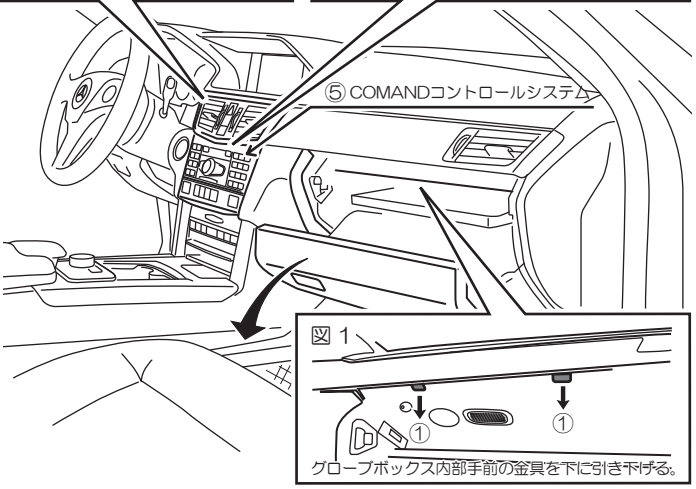
① 図１を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具の突起部を下方に向けてエアコン吹き出し口の切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を 90° 回転させて取外し工具が外れないようにエアコン吹き出し口を手前に引き抜きます。

② 図２を参照し、エアコン吹き出し口取付け部下側の左右ビス２本を緩めます。
左右ビス２本を締付けていたロックレバーの切り込み穴にエアコンルーバー取外し工具の突起部を差し込んで手前に引き、COMAND コントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

※ 組み付け時、ロックレバー（左右１ヶ所）の位置が手前になっていることを確認してから組み付けてください。

―― E クラス（W212）――





① 図1を参照し、グローブボックスを開き、クリップ2個を下方へ引っ張ります。

② 図2を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具の突起部を上方に向けてセンタールーバーの左右切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を180°回転させて突起部を下方に向け、エアコンルーバーの左右キャッチフックに引っ掛けます。

③ 図3を参照し、エアコンルーバー取外し工具の先端をエアコンルーバーの内側方向に約90°回転させてエアコンルーバー取外し工具を引き、左右キャッチフックを解除し、助手席トリムを手前に引き、コネクターを外し、取り外します。

④ 図4を参照し、ロックゲート開閉用ボルト2本を抵抗感があるまで、緩め、ロックを解除します。

※ ロックゲート開閉用ボルトが上方に出てきた場合は、下方に押します。
※ ロックゲート開閉用ボルトはコンソール側に残ります。

⑤ COMANDコントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

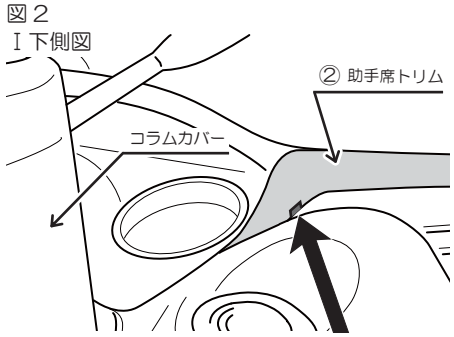
●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― CLS クラス ――

図２



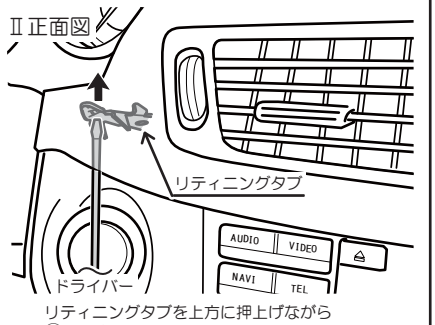
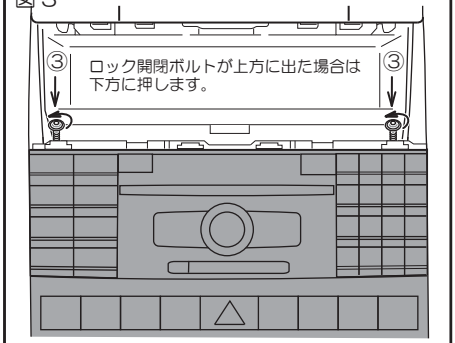


図３



① 図１を参照し、グローブボックスを開きます。助手席側サイドトリムパネルを取り外し、指示位置のビス２本を取り外します。

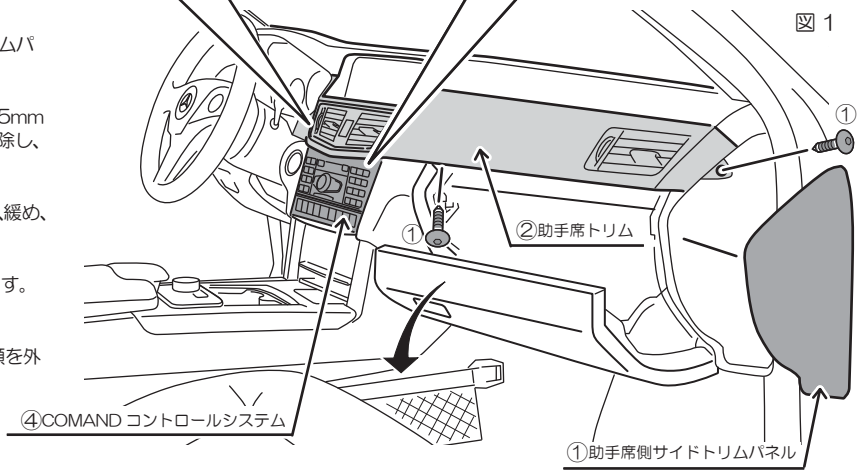
② 図２を参照し、指示位置にΦ3mm 以下のドライバー等（長さは55mm 以上）を挿し込み、リティニングタブを上に押し上げてロックを解除し、助手席トリムを手前に引き、コネクターを外し、取り外します。

③ 図３を参照し､ロックゲート開閉用ボルト２本を抵抗感があるまで､緩め、ロックを解除します。

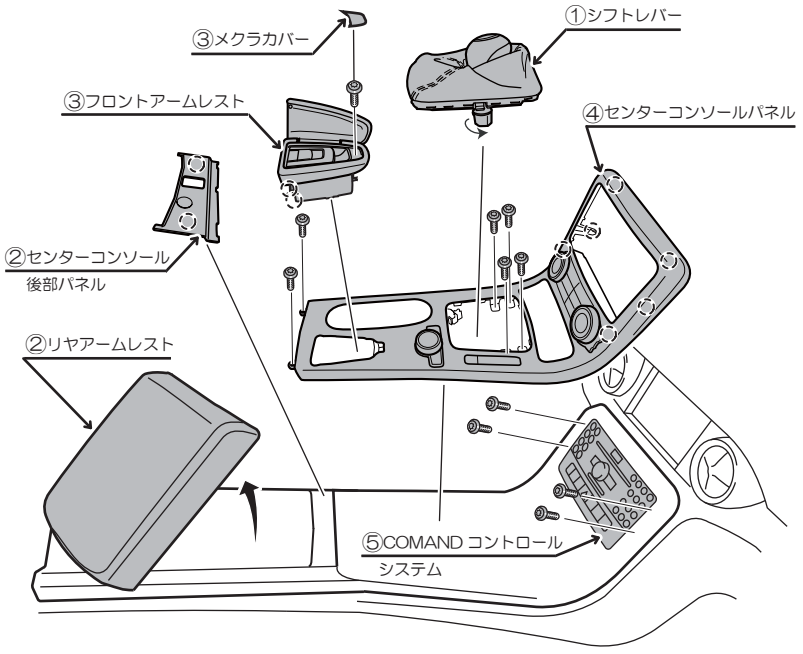
※ ロックゲート開閉用ボルトが上方に出てきた場合は、下方に押します。
※ ロックゲート開閉用ボルトはコンソール側に残ります。

④ COMAND コントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

図１



―― SLK クラス ――



① シフトブーツを上方向に引き上げ、シフトレバー下部の固定リングを解除し、シフトノブ及びシフトブーツを取り外します。

② リヤアームレストをオープンにし、センターコンソール後部パネルを取り外します。（フック ◌ 印２ヶ所）

③ フロントアームレストのメクラカバーを外し、ビス１本を緩め、取り外します。（フック ◌ 印２ヶ所）

④ センターコンソールパネルのビス６本を緩め、取り外します。
（フック ◌ 印６ヶ所）

⑤ COMAND コントロールシステムのビス４本を緩め、コネクター類を外し、取り外します。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

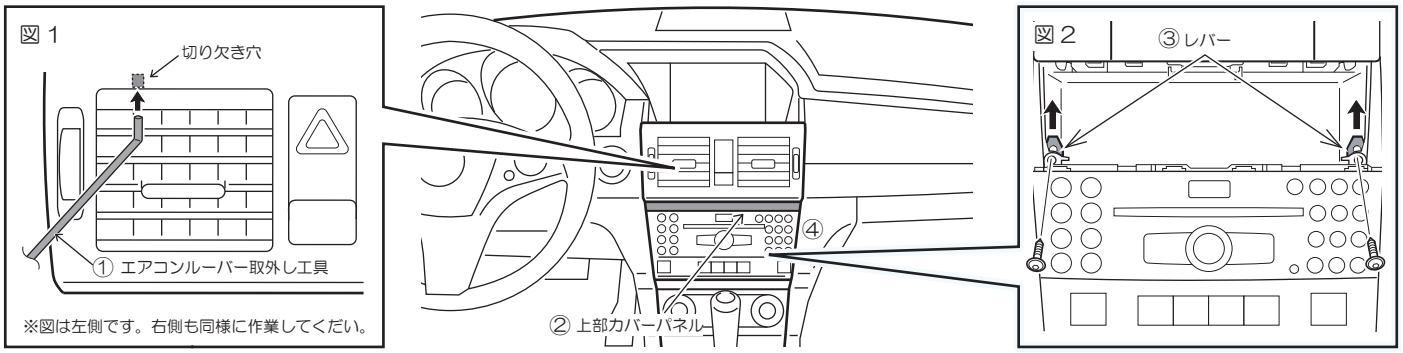
●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― GLK クラス――



① 図１を参照し、エアコンルーバー上部左右の切り欠き穴に付属のエアコンルーバー取り外し工具を差し込み、手前に引き出し、コネクターを外し、取り外します。
※ エアコンルーバーを手前に引き出す際、エアコンルーバー取り外し工具が外れやすいので注意してください。

② COMAND コントロールコンポーネント上部のカバーパネルを取り外します。

③ 図２を参照し、COMAND コントロールコンポーネント上部左右のビス２本を緩め、左右レバー（黒色）を引き上げロックを解除します。

④ COMAND コントロールコンポーネントを手前に一度引き、さらに持ち上げてから手前に引き出し、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外し、取り外します。

――SLS AMG――

① 小物入れを開け、ビス２本を緩めます。

② リヤアームレストを後方にスライドさせ、ドリンクホルダーのインナーシートを取り外し、ビス２本を緩めます。

③ フロントアームレストの後部を持ち上げ、取り外します。
（フック○印１ヶ所、ツメ◌印２ヶ所）

④ フロントアームレストホルダーのビス２本を緩め、取り外します。

⑤ リヤアームレスト前部のビス２本を緩めます。

⑥ リヤアームレスト前部から持ち上げ、コネクターを外し、小物入れ Assy を取り外します。

⑦ センターコンソールパネル後部のビス２本を緩めます。

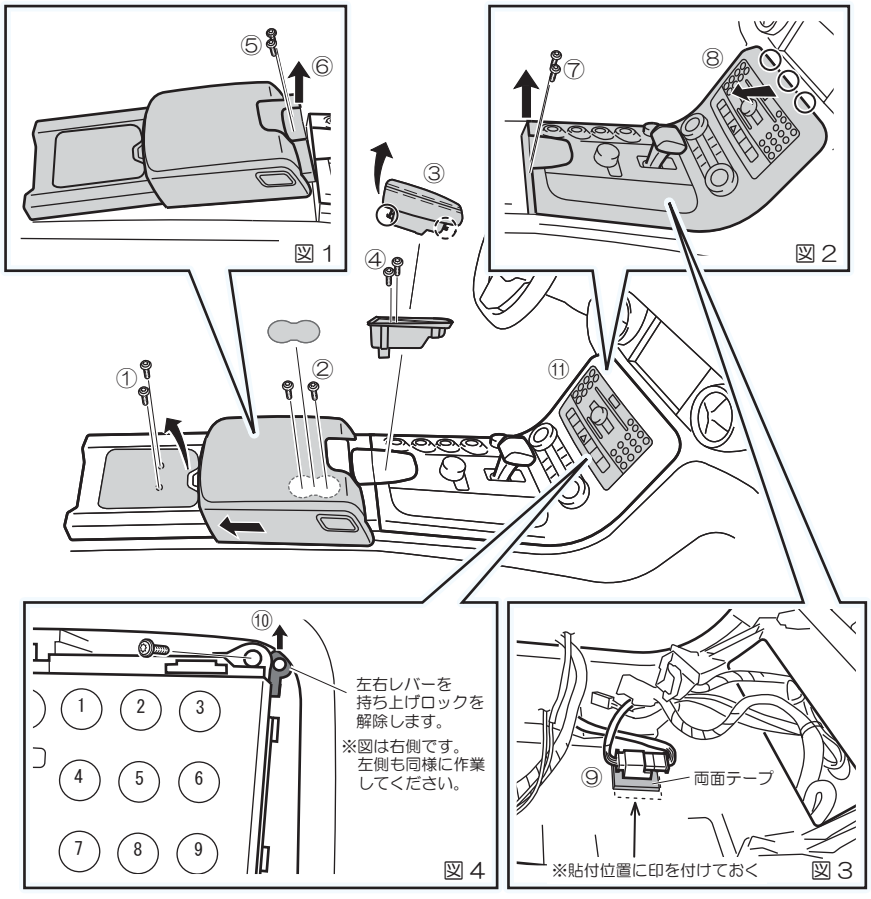
⑧ 図２を参照し、センターコンソールパネル後方を持ち上げ、引きます。（フック○印３ヶ所）

⑨ 図３を参照し、センターコンソールパネルに接続されているホルダー付コネクターの位置をマーキングしてから両面テープを剥がし、コネクター類を外してセンターコンソールパネルを取り外します。

※ ホルダー付コネクターの位置がずれるとセンターコンソールパネルが取り付け出来ない場合がありますので、ご注意ください。

⑩ 図４を参照し、COMAND コントロールコンポーネント上部左右のビス２本を緩め、左右レバーをマイナスドライバーで引き上げロックを解除します。

⑪ COMAND コントロールコンポーネント手前に引き、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外し、取り外します。

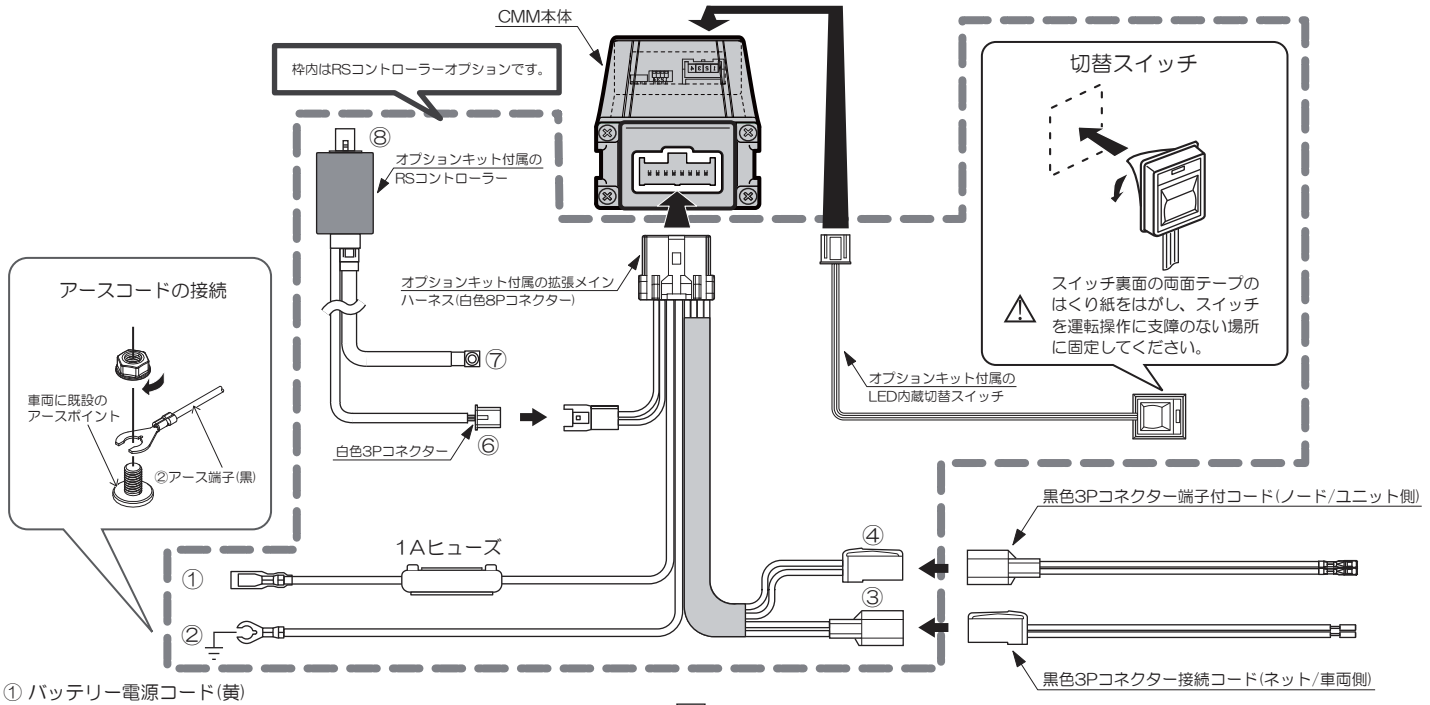


取付・接続のしかた その2[MBH81]

⚠ 注意

●光ファイバーコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。
●CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

接続概要図と電源コードの接続 [MBH81]



① バッテリー電源コード(黄)
COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターの15バッテリー電源コード(赤/青)または(赤)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[詳しくは下図“取付概要図と電源コードの接続”をご覧ください]

② アース端子(黒)
車両に既設のアースポイントへ接続します。[上図参照]

③ 黒色3Pコネクター(ネット/車両側)
付属の黒色3Pコネクター接続コード(ネット/車両側)と接続し、COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクター内の既設配線に接続します。
[詳しくはこの取付説明書9ページ“車両コードとの接続”をご覧ください]

④ 黒色3Pコネクター(ノード/ユニット側)
付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)と接続し、COMANDコントロールコンポーネントの黒色40P光ファイバーコネクター内に差し込みます。
[詳しくはこの取付説明書9ページ“車両コードとの接続”をご覧ください]

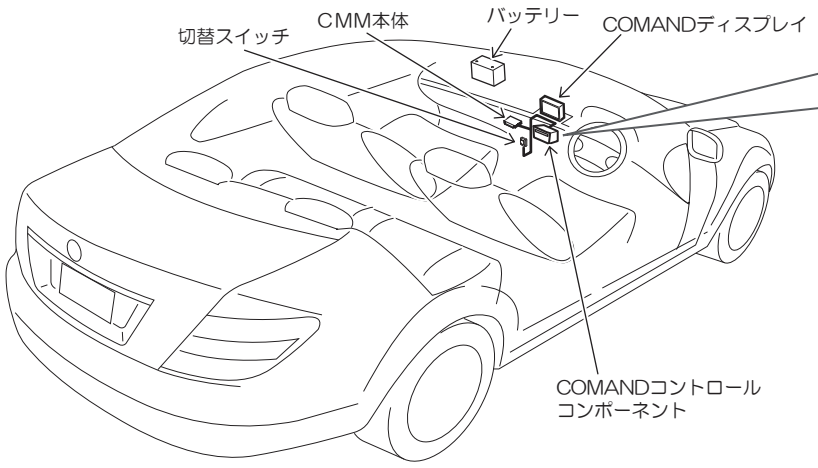
⑤ 切替スイッチ
切替スイッチのコネクターをCMM本体に接続します。

⑥ RSコントローラー接続コネクター
オプションキット付属の拡張メインハーネスからの白色3Pコネクターに接続します。

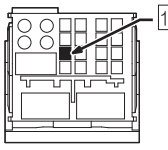
⑦ COMANDコントロールコンポーネント青色2P同軸コネクター接続端子
COMANDコントロールコンポーネントの青色2P同軸コネクターNo.2同軸ケーブルと入れ替えます。
[詳しくはこの取付説明書9ページ“RSコントローラーの接続”をご覧ください]

⑧ COMANDコントロールコンポーネント青色2P同軸コネクターNo.2ケーブル接続コネクター
COMANDコントロールコンポーネントの青色2P同軸コネクターNo.2同軸ケーブルを差込みます。[詳しくはこの取付説明書9ページ“RSコントローラーの接続”をご覧ください]

取付概要図と電源コードの接続 [MBH81]



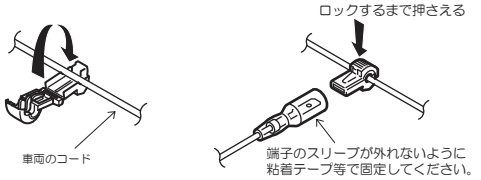
バッテリー電源コードの接続



黒色40P光ファイバーコネクター

※サーキットテスターでバッテリー信号を確認してから接続してください。

スコッチロックの使い方



取付・接続のしかた その2[MBH81]

⚠ 注意

●光ファイバーコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。

●CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

車両コードとの接続 [MBH81]

① 図1を参照し、COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターからホルダーを外し、9番の茶コードと11番の茶/赤コードをコネクターから抜きます。
② 手順①で抜いたコードの入っていた同じ配線色の位置[図2参照]に付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)2本を差し込みます。入れ替えが終わったらホルダーを元通り差し込みます。
③ 手順①で抜いたコードのソケットピンを先端で切断し、各端末の被覆を7～8㎜ストリップします。
④ 切断した車両ハーネス側のコードと、付属の黒色3Pコネクター接続コード(ネット/車両側)のストリップしているコード2本を付属の圧着スリーブで接続します。

※ 茶コードは茶コードと、茶/赤コードは茶/赤コードと接続します。
※ 圧着スリーブは端子圧着用ペンチを使用して、接続不良が無いよう圧着してください。

⑤ 各コネクターと拡張メインハーネスからの黒色3Pコネクターを接続します。

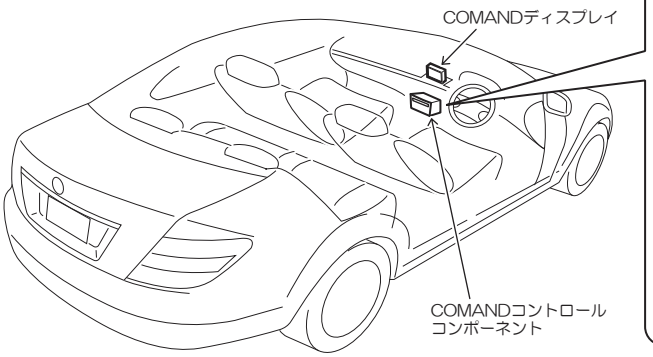


図1 (コネクター側)

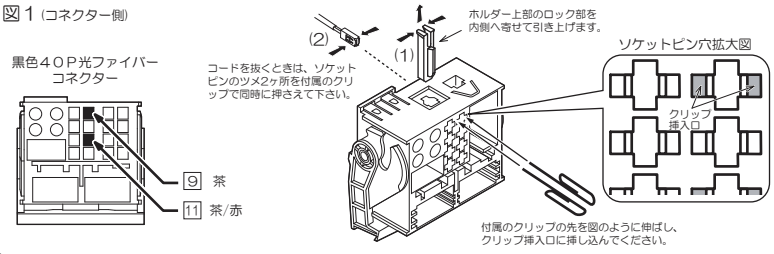
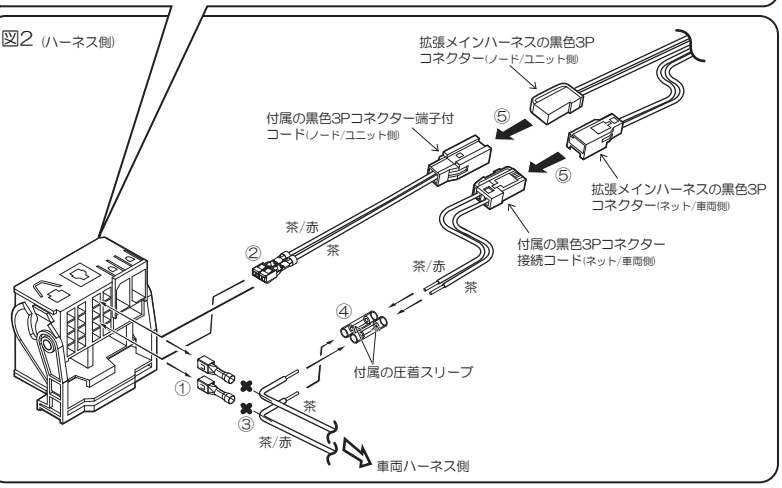


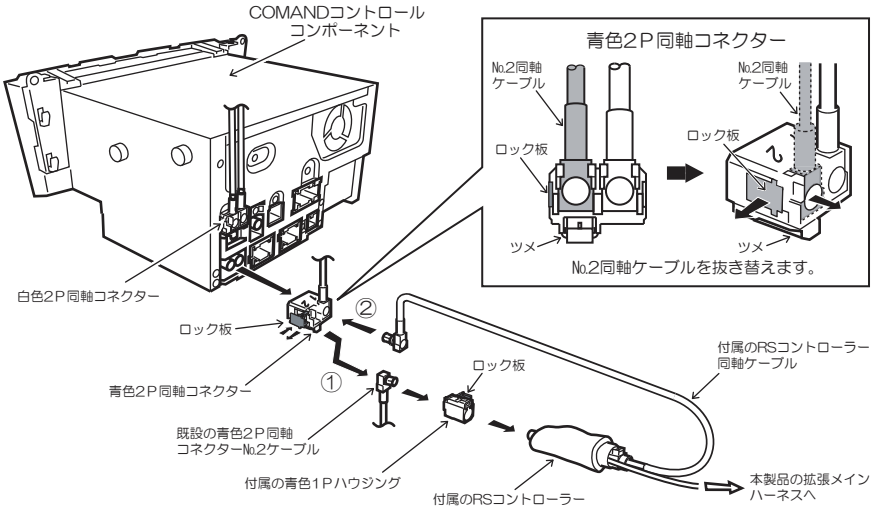
図2 (ハーネス側)



RS コントローラーの接続 [MBH81]

—— ケーブルの差替え ——

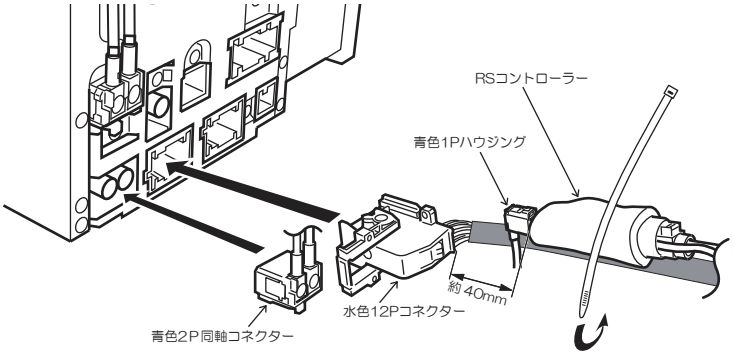
① COMAND コントロールコンポーネントの青色2P 同軸コネクター №2 のロックを浮かし、同軸ケーブルを抜きます。
次に、抜いた同軸ケーブルを青色 1P ハウジングに差し込み、ロック板を押し込み、RS コントローラーへ接続します。
② ①で抜いた青色 2P同軸コネクター №2 に RS コントローラー同軸ケーブルを差し込み、ロック板を押し込みます。



—— RSコントローラーの取付 ——

図を参照し、RS コントローラー青色 1P ハウジング差し込み部分を、水色 12P コネクターの付け根部分から約 40mmのところに合わせ、ナイロンバンド (150mm) で結束します。

※ COMAND コントロールコンポーネントを車両に挿入する際、ハーネス等を整理し、後方のクリアランスを確保してください。
無理に押し込むと RS コントローラーの破損の原因となります。



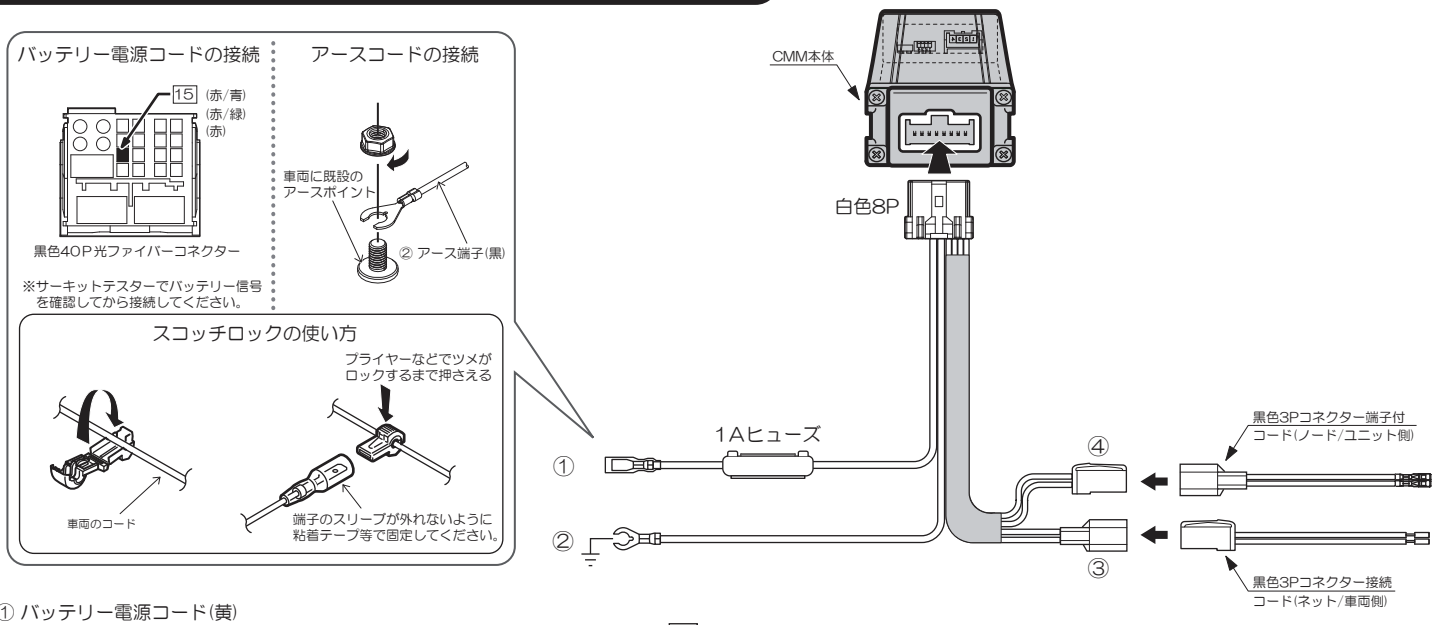
取付・接続のしかた その2[MBH82]

⚠ 注意

●光ファイバーコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。

●CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

接続概要図と電源コードの接続 [MBH82]



① バッテリー電源コード(黄)
COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターの 15 バッテリー電源コード(赤/青)または(赤/緑)または(赤)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続 します。[上図参照]

② アース端子(黒)
車両に既設のアースポイントへ接続します。[上図参照]

③ 黒色3Pコネクター(ネット/車両側)
付属の黒色3Pコネクター接続コード(ネット/車両側)と接続し、COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクター内の既設配線に接続します。
[詳しくは下図“取付概要図と車両コードとの接続”をご覧ください]

④ 黒色3Pコネクター(ノード/ユニット側)
付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)と接続し、COMANDコントロールコンポーネントの黒色40P光ファイバーコネクター内に差し込みます。
[詳しくは下図“取付概要図と車両コードとの接続”をご覧ください]

取付概要図と車両コードとの接続 [MBH82]

① 図1を参照し、黒色40P光ファイバーコネクターからホルダーを外し、 9 番の茶コードと 11 番の茶/赤コードをコネクターから抜きます。

② 手順①で抜いたコードの入っていた同じ配線色の位置[図2参照]に付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)2本を差し込みます。入れ替えが終わったらホルダーを元通り差し込みます。

③ 手順①で抜いたコードのソケットピンを先端で切断し、各端末の被覆を7～8㎜ストリップします。

④ 切断した車両ハーネス側のコードと、付属の黒色3Pコネクター接続コード(ネット/車両側)のストリップしているコード2本を付属の圧着スリーブで接続します。

※ 茶コードは茶コードと、茶/赤コードは茶/赤コードと接続します。

※ 圧着スリーブは端子圧着用ペンチを使用して、接続不良が無いよう圧着してください。

⑤ 各コネクターとメインハーネスからの黒色3Pコネクターを接続します。

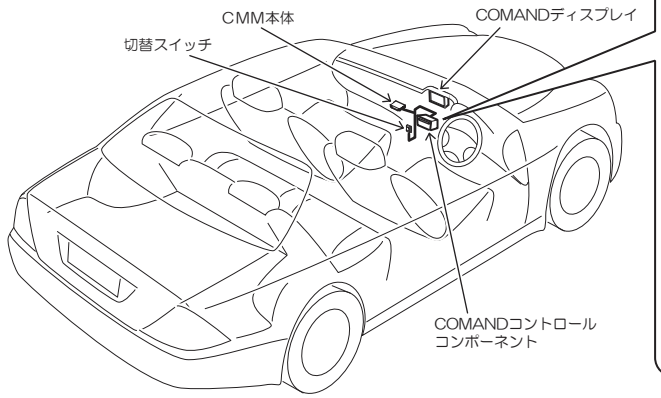


図1 (コネクター側)

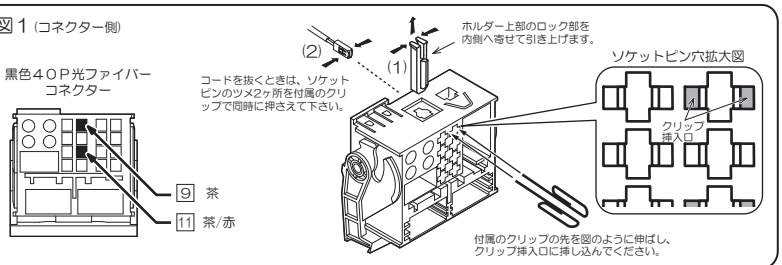
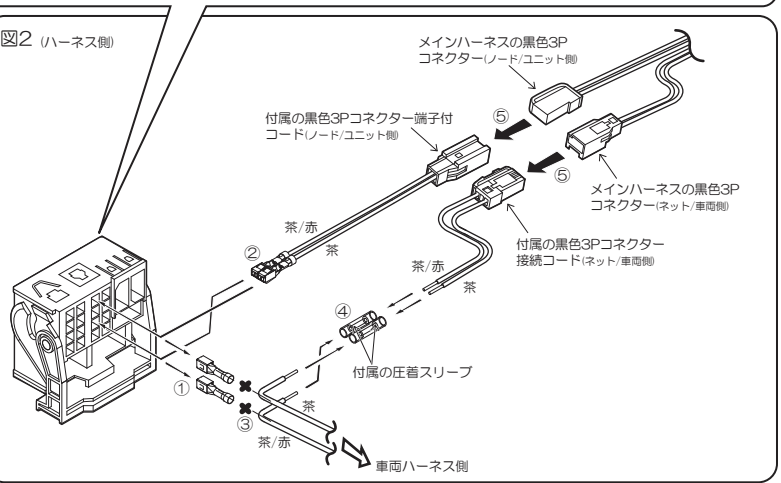


図2 (ハーネス側)



ご使用について

ご使用方法

［MBH81］

① 乗車時には、自動でモード切替スイッチのランプが赤色に点灯し、システムが起動します。
　この状態のときは“ノーマルモード”で、純正システムと同じ(映像制限が解除されない)動作をします。
② モード切替スイッチのボタンを押すとランプが緑色の点灯になります。
　この状態のときは“ＴＶモード”で、映像制限が解除されます。
　走行時にＴＶやＤＶＤビデオの映像を映すときは、緑色の点灯状態にしてご使用下さい。
③ 降車時にはしばらくすると、自動でモード切替スイッチのランプが消灯し、システムがＯＦＦになります。

［MBH82］

本製品を取り付けすると乗車時には、自動でシステムが“TVモード”になり、映像制限が解除されます。

※本製品は、TVモード時に、ナビゲーション(オーディオ)システムへ車両停止信号を送信します。
　このために、車速信号に感応して動作する機能(車速感応ボリューム、車速感応シート調整、カメラ切り替えなど)が一部、使用できない場合があります。
　(本製品は、車速感応式パワーステアリングなどのパワートレイン系には、影響を与えません。)

カーナビゲーション使用時のご注意［MBH81］

“ＴＶモード”(緑色の点灯状態)のとき、カーナビゲーションは機能しません。
切り替えが行われた地点で地図表示が止まったままになり、行き先設定をしてもルート案内は行われません。
また、“ＴＶモード”から“ノーマルモード”へ切り替えを行ったとき、現在地と地図表示が一致しませんが、しばらく走行すると自動的に一致します。その際、“ＴＶモード”での走行時間や走行距離、ＧＰＳ衛星の受信状態によっては、一致するまでの時間が長くかかる場合があります。

CMM 本体の動作チェックについて

付属のジャンパーコネクター(自己診断テスター用コネクター)は、メインハーネスにＣＭＭ本体と差し替えて装着するとオリジナル配線と同じ状態にバイパスされます。［図を参照］
本製品の取り付け時、ＣＭＭ本体をメインハーネスにつなぐ前に、このジャンパーコネクターを装着してから動作チェックを行うと、配線の誤りが無い事を確認できます。また、このコネクターは、正規ディーラーにて自己診断テスターを使用するサービスを受ける際に必要になります。正規ディーラーにて自己診断テスターを使用するサービスを受ける際は必ずジャンパーコネクターを装着してください。

☞ アドバイス

●正規ディーラーにてナビゲーションのバージョンアップまたは故障修理を受ける際は、付属のジャンパーコネクターを接続してください。